

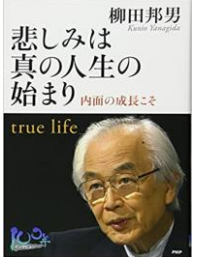
<6月生まれの「栃木県ゆかりの著名人」> 柳田邦男(1936.6.9～：栃木県鹿沼市生まれ)

今はもうなくなりましたが、子どもの頃、鹿沼市の今宮神社の隣にあった「柳田書店」という古本屋によく通っていました。星新一、小松左京、眉村卓、光瀬龍、筒井康隆らのジュブナイル小説やSF小説に夢中になっていた私は、本屋の新刊本には高く手が出ませんでしたので、小遣いを貯めた小銭を握りしめて「柳田書店」に自転車で行って、数年前に出版された新刊本の古本を購入するのが楽しみでした。また、「柳田書店」には、なぜか辞書や参考書の古本がふんだんにあり、中学校や高校で使う辞書や参考書の多くを格安で購入したのを覚えています。

時は流れ、私が県立高校の教員になって3年が過ぎた夏休みの1985(昭和60)年8月12日に、世界最悪の航空機事故といわれた「日本航空123便墜落事故」が発生しました。今でも、夏休みに慰霊祭のニュースが流れますが、日本航空123便は群馬県多野郡上野町の御巣鷹山の尾根に墜落しました。単独機の航空事故として死者数世界最多(520名)で、今でもその凄惨な事故のことは強い衝撃とともに、脳裏に焼きついています。その夜のNHK報道特別番組に航空評論家として出演したのが柳田邦男氏でした。柳田邦男氏のプロフィールの中に「栃木県鹿沼市出身」とのテロップがあり、父親に確認したところ、先ほどお話しした「柳田書店」が実家であることがわかりました。私が子どもの頃に夢中になって通っていた「柳田書店」は、柳田邦男氏のお兄さん夫婦が先代の後を継いで、経営していた古本屋だったのです。

柳田邦男氏は、1936(昭和11)年6月9日に鹿沼市(当時は鹿沼町)に生まれ、鹿沼高校を卒業し、東京大学経済学部に進学します。1960年に東京大学を卒業後、NHKに入局しました。NHK時代には、遊軍記者として全日空機羽田沖墜落事故、カナダ航空機墜落事故、BOAC機空中分解事故取材し、1971年にこれらの事故を追ったルポルタージュ『マッハの恐怖』を発表し、大宅壮一ノンフィクション賞を受賞しました。

1974年にNHKを退職した後は、現在までノンフィクション作家・評論家として活躍しています。1979年に設立当初の国立がんセンターを舞台に、ガンの臨床医・研究者の活躍を描いた『ガン回廊の明日』で講談社ノンフィクション賞を受賞しました。また、1995年には、精神を病んだ次男の自殺と脳死による献腎の決意を描いた『犠牲(サクリファイス) わが息子・脳死の11日』を発表し、文藝春秋読者賞・菊池寛賞を受賞しました。2000年には『脳治療革命の朝』で、2013年には『原発事故 私の最終報告書』で文藝春秋読者賞を受賞しています。



【主な著書】

『マッハの恐怖』(1971)
『続マッハの恐怖 連続ジェット機事故鎮魂の記録』(1973)
『空白の天気図』(1975)
『失速 ロッキード破局の風景』(1976)
『零式戦闘機』(1977)
『ガン回廊の朝』(1978)
『明日に刻む闘い ガン回廊からの報告』(1981)
『事実を見る眼』(1982)
『零戦燃ゆ 飛翔編』(1984)
『追撃 大韓航空機事件』(1984)
『最新医学の現場』(1985)
『死角 巨大事故の現場』(1985)
『事実の考え方』(1987)
『事故調査』(1994)
『かけがえのない日々』(1994)
『犠牲(サクリファイス) わが息子・脳死の11日』(1996)
『いのち 8人の医師との対話』(1996)
『20世紀は人間を幸福にしたか』(1998)
『脳治療革命の朝』(2000)
『言葉の力、生きる力』(2002)
『砂漠で見つけた一冊の絵本』(2004)
『大人が絵本に涙する時』(2006)
『生きなおす力』(2009)
『「想定外」の民 大震災と原発』(2011)
『原発事故 私の最終報告書』(2013)
『生きる力、絵本の力』(2014)
『自分を見つめる もうひとりの自分』(2016)



【生徒の皆さんに贈る柳田邦男名言集】

◎すべての物を失っても耐えられる心。また出直せばいいと思える強さ。何事にも動じない自分。そうした内面のしなやかさを持つことが、幸せな人生を歩む上での糧となると私は思っています。
◎今は不幸だと思っている状況でも、時間が経てばそれが幸福だと思える。今を一生懸命に生きていけば、必ず不幸は幸福へと姿を変える。
◎自分の子どもが死ぬという体験をしたことによって、なんかものごとがよく見えるようになったという感じがするんですね。人間がよく見えるようになった。
◎学問は興味から、もしくは好奇心からはいったものがもっとも根強い。
◎学問は結局世のため人のためでなくてはならぬ。
◎想定外は免罪符ではない。
※息子の死だけでなく、多くの事故・病気・天災などで亡くなった人々やそれと闘ってきた人々を見てきた柳田邦男の言葉の重みにては圧倒されます。

今回お話ししたノンフィクション作家の柳田邦男は、東北地方の伝承を記録した『遠野物語』やカタツムリの呼び名の方言を研究した『蝸牛考』などで知られる民俗学者の柳田國男(1875～1962)とは別人です。

【柳田國男の『蝸牛考』】

◎カタツムリの呼び名(方言)

場所(地方)	呼び名	時代
近畿	デデムシ	最も新しい
中部・中国	マイマイ	新しい
関東・四国	カタツムリ	中間
東北・九州	ツブリ	古い
東北北部・九州西部	ナメクジ	最も古い

日本全国のカタツムリの呼び名(方言)を調べたところ、左表のように近畿地方(京都)を中心とした同心円状に分布しているという事実を発見した。この事実を一般化して、カタツムリの呼び名に限らず、一般に方言は時代に際して京都で使われていた語形が地方に向かって同心円状に伝播していった結果として形成されたものなのではないかとする方言圏論を展開した。

建学の精神	ブルス ウルトラ PLUS ULTRA	さらに向こうへ	HAKUOH SPIRIT	'Challenging Spirit' と 'Pioneer Spirit' を持って世界を舞台に自己の人生を切り開いていく人間を育成する。
教育目標	学園の恒久的発展を基調とし、教育基本法の本質を汲み、民主主義を理解し、もって個性の伸長発展を図り、よき社会の形成者を育成する。 ○自立精神の涵養 ○責任と義務の心得 ○豊かな良識と個性の伸長			卒業までに生徒に身につけさせたい 「8つの力」
白鷗足利の誓い	はっきり、くっきり、大きく美しい足跡を印そう！ 科学の学園「白鷗足利」で！			毎月8日と9日は 「白鷗足利の日」

<今日は何の日：6月8日>

- ◎世界海洋デー：2008(平成20)年12月の国連総会で制定。翌2009(平成21)年から実施。国際デーの一つ。英語表記は"World Oceans Day"。世界100カ国以上において、海の環境について考えるフェスティバルなどが実施される。
- ◎学校の安全確保・安全管理の日：大阪府教育委員会が2002(平成14)年に制定。2001(平成13)年のこの日、大阪府池田市の大阪教育大学附属池田小学校に凶器を持った男が侵入し、児童8名が殺害される事件が起きた。
- ◎成層圏発見の日：1902(明治35)年のこの日、フランスの気象学者テスラン・ド・ボールによって成層圏が発見された。
- ◎ヴァイキングの日：793年のこの日、北欧の海賊ヴァイキングの活動が最初に記録に現われた。剣や斧で武装した彼らがイギリスのリンディスファーン修道院を襲撃し、人々を驚かせたという。

<今日は何の日：6月9日>

- ◎ロックの日：錠の取り扱い業者の団体である日本ロックセキュリティ協同組合が2001(平成13)年に制定。「錠」が英語で"Lock"であることから「ロ(6)ック(9)」と読む語呂合せ。
- ◎ドナルドダックの誕生日：1934(昭和9)年のこの日、アメリカで初公開されたアニメーション短編映画『かしこいメンドリ』"The Wise Little Hen"で、ドナルドダック"Donald Duck"がスクリーン・デビューした。
- ◎無垢の日：プレイリーホームズ株式会社が制定。無垢「む(6)く(9)」と読む語呂合せ。自然素材などの資源の有効活用のため、無垢の木材の利用促進を図ることが目的。
- ◎たまごの日：鶏卵の生産・販売を手がける有限会社「鈴木養鶏場」が制定。「卵」という漢字が数字の「6」と「9」に似て見えることから。